

公益社団法人 日本地下水学会  
2017年度 事業報告書

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業-1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業-2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業-3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業-4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業報告を記す。

**[公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業**

**1. 会誌編集事業**

- ① 会誌59巻2号、3号、4号、60巻1号の編集および発行を行った。59巻4号、60巻1号は、特集「水循環基本計画の下での地下水に関する取り組み」として発刊した。59巻総ページ数は449であった。
- ② Web投稿・審査(編集管理)システム(Editorial Manager)の活用により、平均査読期間、受理・掲載までの期間をそれぞれ短縮した。
- ③ 若手のページの新設(次年度発行を目標に)に向けてワーキンググループを設置し、議論を開始した。
- ④ 特集号および誌面講座についてゲストエディターの募集を行い、1件の誌面講座企画「現場新技術」を承認し、次年度発行に向けて準備に入った。あわせて、新規企画「水循環基本計画関連『自治体との意見交換会』」を承認した。

**2. 定期講演会等の主催**

- ①(公社)日本地下水学会春季講演会  
日時：2017年5月20日(土)  
場所：日本大学文理学部キャンパス3号館  
参加者数等：参加者数126名、講演件数31件、ポスター発表数18件、展示件数5社
- ②(公社)日本地下水学会秋季講演会  
日時：2017年10月12(木)～10月14日(土)  
場所：弘前大学創立50周年記念会館  
参加者数等：参加者数131名、講演件数52件、ポスター発表数11件、展示件数3社、  
見学会参加者34名
- ③第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会  
主催：(公社)日本地下水学会、(公社)地盤工学会、(公社)日本水環境学会、  
(一社)廃棄物資源循環学会、(一社)土壌環境センター  
日時：2017年11月9日(木)～12日(日)  
場所：沖縄県男女共同参画センター「ていりる」他  
参加人数：参加者数：557名、発表件数：190件、企業展示：28社

### 3. 講演会等の後援、協賛

- ① (公社)日本河川協会日本水大賞委員会主催:第20回日本水大賞、後援
- ② 再生可能エネルギー協議会主催:第12回再生可能エネルギー世界展示会、2017年7月5日～7月7日、パシフィコ横浜、協賛
- ③ 日本地熱学会主催:日本地熱学会 H29 学術講演会、2017年10月18日～20日、函館アリーナ、協賛
- ④ (公社)地盤工学会関西支部主催:Kansai Geo-Symposium 2017、2017年11月2日、関西大学100周年記念会館、協賛
- ⑤ (一社)全国さく井協会主催:いい井戸の日2017 in 中国、2017年11月10日、メルパルク広島、協賛
- ⑥ 内閣官房水循環政策本部主催:水循環シンポジウム2017、2017年11月24日、トラストシティカンファレンス・丸の内、後援
- ⑦ (公社)地盤工学会「廃炉地盤工学委員会」主催:「現場実験から把握する地下水の実流速」講習会、2017年11月27日、日本大学文理学部、後援
- ⑧ (一社)地下水技術協会主催:平成29年度秋期講習会「地下水流動と水循環に関する解析の基礎」、2017年12月1日、ティアラこうとう、協賛
- ⑨ (一社)地下水技術協会主催:平成29年度秋期講習会「水循環解析の基礎演習」、2017年12月2日、テラススクエア16階、協賛

## [公2] 地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

### 1. 講習会事業

- ①地下水シミュレーション(入門)講習会  
日時:2017年8月3日(木)、4日(金) 2日間  
場所:(公社)地盤工学会 大会議室  
主催:(公社)日本地下水学会  
受講者数:18名
- ②現場調査講習会「はじめての揚水試験講習会」  
日時:2017年10月5日(木)、6日(金) 2日間  
場所:日本大学 文理学部百周年記念館  
主催:(公社)日本地下水学会  
後援:(公社)地盤工学会、(公社)土木学会、(一社)日本応用地質学会、  
(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)土壌環境センター  
受講者数:18名

### 2. シンポジウム・セミナー開催事業

- ①セミナー「グローバル地下水研究の現状と課題」  
日時:2017年5月19日(金) 16:00～17:30  
場所:日本大学 文理学部 8号館レクチャーホール  
主催:(公社)日本地下水学会  
後援:(公社)地盤工学会、(公社)雨水貯留浸透技術協会、(一社)日本応用地質学会  
(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)土壌環境センター、  
(一社)水文・水資源学会、日本水文科学会  
参加者数:40名
- ②セミナー「津波に伴う地下水影響とその後の回復」  
日時:2017年7月1日(土) 10:00～17:00

場所：日本大学 文理学部 3号館 3206 教室

主催：(公社) 日本地下水学会

共催：IAH Japan

後援：(公社) 地盤工学会、(公社) 土木学会、(公社) 雨水貯留浸透技術協会

(一社) 日本応用地質学会、(一社) 全国地質調査業協会連合会、

(一社) 土壤環境センター、(一社) 水文・水資源学会、日本水文科学会

参加者数：36 名

### 3. 見学会の開催

一般市民向けの湧水見学ツアー「湧水めぐり in 八王子」を2017年10月20日(土)に企画したが(応募者33名)、台風接近のため前日中止となった。

## [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

### 1. 研究グループ活動

- ① 「熊本地震対応調査・研究グループ」の活動を本格化させ、「地下水位」・「地下水質」・「地下水モデル」・「地下水温」・「地下水利用・保全」といった5つのサブグループごとに研究活動に取り組んだ。また、その途中経過について秋季講演会において報告した。
- ② 「学会誌・地域データベース」に文献を追加し、アップデートした。
- ③ 「地下水ガバナンス等に関する調査・研究グループ」の委員募集を行い、活動を開始した。
- ④ 「水循環における地下水の科学に関する調査・研究グループ」の代表者を決定し、活動を開始した。
- ⑤ 「地下水流動解析コード検証事例作成のための調査・研究グループ」の活動を継続し、地下水流動解析の信頼性向上に向けた解析コード検証のための事例集の作成、講習会開催に向けた活動を行った。
- ⑥ 「降雨浸透過程モデリングに関する研究委員会」の委員募集を行い、活動を開始した。

### 2. 受託事業

国立研究開発法人産業技術総合研究所から「平成28年度「沿岸部処分システム高度化開発」追加外部評価委員会の運営業務」、「平成29年度「沿岸部処分システム高度化開発」委員会の事務局業務」、「平成29年度「沿岸部処分システム高度化開発」委員会の評価とりまとめ」を受託し、委員会の運営業務を実施した。

### 3. 優れた若手研究者・技術者、研究グループ等の活動助成

- ① □ 地下水研究に携わる若手研究員が独創的な着想に基づいて主体的に行う研究を奨励する「2017年度 若手地下水研究助成」を公募した。
- ② □ 「2016年度 若手地下水研究助成」の採択者の中から、特に独創的かつ主体的な学術活動を行い、地下水学の進展と社会課題解決へ寄与する学術研究を行った2名に対して、「2016年度 若手地下水研究助成 奨励賞」を授与した。

## [公4]：地下水に関する相談事業

- ① HP「市民コミュニケーション委員会」上にて「地下水ブックガイド」を掲載する等の情報発信、地下水に関する質問の受付と回答を行った(25件)。

## [他1] 表彰関連

名誉会員3名、学会賞1名、地下水学術賞1名、技術賞1件、論文賞1件、研究奨励賞2件、

学会功労賞 14 名を決定・表彰した。

若手優秀講演賞 6 名（春季：3 名、秋季：3 名）を決定・表彰した。

## [共通]

### 1. 国内外関連団体交流

- ① IAH Japanの事務局を当学会内におき、その事務業務の一部を行った。
- ② 地球惑星科学連合の各種委員会に委員を派遣した。
- ③ 地球惑星科学連合大会において、セッション提案を行った。
- ④ 地球惑星科学連合の代議員選挙において学会内の事務業務を行った。
- ⑤ 地球惑星科学連合の「夢ロードマップ」の作成を行った。
- ⑥ HRL誌運営委員会に委員を派遣した。
- ⑦ HRL誌の編集委員会に編集幹事1名、編集委員2名を派遣した。
- ⑧ NGWAとの協定を継続した。

### 2. 学会情報普及に関する活動

- ① 学会員を含む広く一般の方々を対象に、ホームページ上に学会及び関連団体等の最新情報を掲示・更新した。
- ② 2017年度のHPアクセス数は108,475件であった。（2016年度実績：約93,400件）
- ③ メール配信を希望する会員を対象に、メールニュースを発信した。
- ④ インターネットを通じた学会運営の効率化を図った。
- ⑤ 英文ホームページを運用すると共に海外関連団体の行事等を紹介した。
- ⑥ ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用した学会情報発信の運用を検討した。
- ⑦ 自治体との意見交換会を開催し、地域の取り組みや課題を把握するとともに、学会誌を通して情報発信する活動を試行的に開始した。

### 3. 会計

- ① 公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益目的事業比率50%以上の確保、遊休財産額の保有制限等の認定条件を維持するよう運営・管理した。
- ② 未納会費の徴収、経費の節減に取り組んだ。

### 4. 男女共同参画に関する活動

- ① 「若手交流会」（若手の交流を図る場）を春季講演会時に開催した。開催報告を学会誌の「すぶりんぐ」およびホームページに掲載した。
- ② 「若手セミナー」（若手の勉強・研究活動の促進を図る場）を秋季講演会時に開催した。開催報告およびアンケート結果を学会誌の「すぶりんぐ」およびホームページに掲載した。

### 5. 技術者継続教育に関する活動

- ① ジオ・スクーリングネット、JABEE 等へ参加した。
- ② ジオ・スクーリングネットのシステムを通じて、会員の CPD 登録対応を行った。

### 6. その他

- ① 2019 年度の学会創立 60 周年記念事業に向けて、企画検討を開始した。

以上

2017年度 財産目録

2018年03月31日 現在

[単位:円]

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【資産の部】</b>			
<b>I 流動資産</b>			
1 現金預金			6,928,305
1) 現金	手元保管	運転資金として	5,929
2) 振替貯金	東京貯金事務センター(社団法人口座)	運転資金として	3,800,845
	東京貯金事務センター(旧口座:閉鎖)	運転資金として、2018年2月2日閉鎖	0
3) 普通預金	みずほ銀行築地支店(社団法人口座)	運転資金として	3,011,874
	みずほ銀行築地支店(小口座)	運転資金として	109,657
	みずほ銀行築地支店(旧口座:解約)	運転資金として、2017年12月8日解約	0
2 未収金			1,388,490
	調査・研究委員会会計	2017年度委員会 運営費用・受託費用未収金	1,388,490
3 前渡金			599,910
	編集委員会会計	2018年度委員会 運営費用前渡し	300,000
	行事委員会会計	2018年度委員会 運営費用前渡し	99,910
	市民コミュニケーション委員会会計	2018年度委員会 運営費用前渡し	200,000
4 前払い金	フクダエステート	事務局家賃(4月～8月分)	540,000
流動資産合計			9,456,705
<b>II 固定資産</b>			
1 特定資産			
1) 特定寄付金A	みずほ銀行築地支店(寄付金口座)	調査・研究委員会活動費	700,000
2) 特定寄付金B	みずほ銀行築地支店(寄付金口座)	地下水学振興基金(若手研究者の研究進化)	1,000,000
2 その他の固定資産			
1) 敷金	フクダエステート	事務局敷金	300,000
2) 什器備品	パソコン1:学会事務局	公益目的保有財産であり、公1～公4、その他事業および管理事務に使用している。	1
	パソコン2:学会事務局	公益目的保有財産であり、公1～公4、その他事業および管理事務に使用している。	1
固定資産合計			2,000,002
資 産 合 計			11,456,707
<b>【負債の部】</b>			
<b>I 流動負債</b>			
1 未払金			0
2 預り金			14,180
	事務局経費	2017年度委員会 預り金	14,180
3 前受金	2018年度分会費	公益目的事業, 法人会計に関わる前受分	3,167,000
流動負債合計			3,181,180
<b>II 固定負債</b>			
固定負債合計			0
負 債 合 計			3,181,180
正 味 財 産			8,275,527

貸借対照表

2018年03月31日 現在

(円)

科目	当年度末	前年度末	増減
	2018/03/31	2017/03/31	
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	6,928,305	7,708,429	△ 780,124
現金手許有高	5,929	61,721	△ 55,792
振替貯金	3,800,845	2,822,717	978,128
ゆうちょ銀行(社団法人口座)	3,800,845	2,629,889	1,170,956
ゆうちょ銀行(旧口座:閉鎖)	0	192,828	△ 192,828
普通預金	3,121,531	4,823,991	△ 1,702,460
みずほ銀行築地支店(社団法人口座)	3,011,874	3,353,038	△ 341,164
みずほ銀行築地支店(小口座)	109,657	96,966	12,691
みずほ銀行築地支店(旧口座:解約)	0	1,373,987	△ 1,373,987
前渡金等	599,910	300,000	299,910
編集委員会	300,000	300,000	0
行事委員会	99,910	0	99,910
市民コミュニケーション委員会	200,000	0	200,000
未収金	1,388,490	549,931	838,559
行事委員会	0	376,305	△ 376,305
調査・研究委員会	1,388,490	173,626	1,214,864
前払金	540,000	540,000	0
前払家賃	540,000	540,000	0
流動資産合計	9,456,705	9,098,360	358,345
2. 固定資産			
特定資産	1,700,000	1,700,000	0
特定寄付金 A (調査・研究委員会活動費)	700,000	700,000	0
特定寄付金 B (地下水学振興基金)	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産固定資産	300,002	300,002	0
敷金	300,000	300,000	0
什器備品	2	2	0
固定資産合計	2,000,002	2,000,002	0
資産合計	11,456,707	11,098,362	358,345
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	34,540	△ 34,540
若手支援・男女共同参画委員会	0	34,540	△ 34,540
預り金	14,180	15,310	△ 1,130
前受金	3,167,000	3,386,000	△ 219,000
前受会費	3,167,000	3,386,000	△ 219,000
流動負債合計	3,181,180	3,435,850	△ 254,670
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,181,180	3,435,850	△ 254,670
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	1,700,000	1,700,000	0
2. 一般正味財産	6,575,527	5,962,512	613,015
正味財産合計	8,275,527	7,662,512	613,015
負債および正味財産合計	11,456,707	11,098,362	358,345

貸借対照表 内訳表

2018年03月31日 現在

(円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金	4,153,426	0	2,774,879		6,928,305
現金手許有高	0	0	5,929		5,929
振替貯金	2,280,507	0	1,520,338		3,800,845
ゆうちょ銀行(社団法人口座)	2,280,507	0	1,520,338		3,800,845
ゆうちょ銀行(旧口座:閉鎖)	0	0	0		0
普通預金	1,872,919	0	1,248,612		3,121,531
みずほ銀行築地支店(社団法人口座)	1,807,124	0	1,204,750		3,011,874
みずほ銀行築地支店(小口座)	65,794	0	43,863		109,657
みずほ銀行築地支店(旧口座:解約)	0	0	0		0
前渡金等	599,910	0	0		599,910
編集委員会	300,000	0	0		300,000
行事委員会	99,910	0	0		99,910
市民コミュニケーション委員会	200,000	0	0		200,000
未収金	1,388,490	0	0		1,388,490
調査・研究委員会	1,388,490	0	0		1,388,490
前払金	0	0	540,000		540,000
前払家賃	0	0	540,000		540,000
流動資産合計	6,141,826	0	3,314,879		9,456,705
2. 固定資産					
特定資産	1,700,000	0	0		1,700,000
特定寄付金 A (調査・研究委員会活動費)	700,000	0	0		700,000
特定寄付金 B (地下水学振興基金)	1,000,000	0	0		1,000,000
その他の固定資産	180,002	0	120,000		300,002
敷金	180,000	0	120,000		300,000
什器備品	2	0	0		2
固定資産合計	1,880,002	0	120,000		2,000,002
資産合計	8,021,828	0	3,434,879		11,456,707
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
預り金	0	0	14,180		14,180
その他	0	0	14,180		14,180
前受金	1,583,500	0	1,583,500		3,167,000
前受会費	1,583,500	0	1,583,500		3,167,000
流動負債合計	1,583,500	0	1,597,680		3,181,180
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	1,583,500	0	1,597,680		3,181,180
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産	1,700,000	0	0		1,700,000
2. 一般正味財産	4,738,328	0	1,837,199		6,575,527
正味財産合計	6,438,328	0	1,837,199		8,275,527
負債および正味財産合計	8,021,828	0	3,434,879		11,456,707

正味財産増減計算書  
2017年04月01日から 2018年03月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	6,394,000	6,277,000	117,000
正会員受取会費	4,599,000	4,727,000	-128,000
準会員受取会費	100,000	88,000	12,000
特別会員受取会費	1,440,000	1,180,000	260,000
過年度分受取会費	255,000	282,000	-27,000
事業収益	786,405	9,733,215	-186,915
公1: 学術結果等を収集, 編集, 公表する事業 収益	4,225,890	4,505,215	-279,325
公2: 講習会, シンポジウム, 見学会開催事業 収益	1,542,500	1,988,000	-445,500
公3: 特定テーマの技術開発, 研究等事業 収益	2,095,669	3,240,000	-1,144,331
公4: 地下水に関する相談事業 収益	0	0	0
その他事業: 表彰事業 収益	0	0	0
受取寄付金	1,223,000	300,000	923,000
受取寄付金	1,223,000	300,000	923,000
雑収益	119,802	87,463	32,339
雑収益	119,802	87,463	32,339
経常収益計	15,600,861	16,397,678	-796,817
(2) 経常費用			
公益事業費	12,382,215	15,809,116	-3,426,901
給料手当	1,879,440	1,953,480	-74,040
福利厚生費	0	0	0
臨時雇賃金	243,000	420,000	-177,000
会議費	1,465,236	1,817,751	-352,515
旅費交通費	2,229,998	2,933,787	-703,789
通信運搬費	315,731	336,913	-21,182
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	5,132	-5,132
消耗品費	71,846	127,382	-55,536
修繕費	0	0	0
印刷製本費	4,114,198	4,011,340	102,858
燃料費	0	0	0
光熱水料費	39,268	35,344	3,923
賃借料	1,052,906	2,121,532	-1,068,626
保険料	2,450	2,450	0
諸謝金	745,925	835,670	-89,745
租税公課	0	600	-600
支払負担金	0	0	0
支払助成金	0	499,568	-499,568
支払寄付金	0	0	0
委託費	203,040	680,400	-477,360
支払利息	0	0	0
支払手数料	9,936	15,822	-5,886
雑費	9,241	11,944	-2,703
その他事業費	342,759	241,255	101,504
給料手当	76,620	81,390	-4,770
福利厚生費	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
会議費	0	0	0
旅費交通費	60,383	66,549	-6,167
通信運搬費	1,518	250	1,268
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	4,419	1,620	2,799
修繕費	0	0	0
印刷製本費	5,076	6,804	-1,728
燃料費	0	0	0
光熱水料費	3,272	2,945	327
賃借料	71,856	81,576	-9,720
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0



(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
租税公課	0	0	0
支払負担金	0	0	0
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
委託費	0	0	0
支払利息	0	0	0
支払手数料	540	0	540
雑費	119,075	120	118,955
管理費	2,262,872	2,336,533	-73,661
給料手当	536,340	569,730	-33,390
福利厚生費	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
会議費	13,581	41,000	-27,419
旅費交通費	422,680	465,846	-43,166
通信運搬費	289,270	290,279	-1,009
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	3,060	0	3,060
消耗品費	28,404	71,631	-43,227
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費	22,906	20,617	2,289
賃借料	502,992	571,032	-68,040
保険料	0	13,000	-13,000
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	1,100	-1,100
支払負担金	290,000	170,000	120,000
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
委託費	114,480	109,080	5,400
支払利息	0	0	0
支払手数料	17,034	7,834	9,200
雑費	22,125	5,383	16,742
経常費用計	14,987,846	18,386,903	-3,399,057
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	613,015	-1,989,225	2,602,240
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	613,015	-1,989,225	2,602,240
一般正味財産期首残高	5,962,512	7,951,737	-1,989,225
一般正味財産期末残高	6,575,527	5,962,512	613,015
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,700,000	1,700,000	0
指定正味財産期末残高	1,700,000	1,700,000	0
III 正味財産期末残高	8,275,527	7,662,512	613,015
IV 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
V 正味財産期末残高	8,275,527	7,662,512	613,015



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は定率法を採用している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

当期末における基本財産及び特定資産の増加額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
特定寄付金 A	700,000	0	0	700,000
特定寄付金 B	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	1,700,000	0	0	1,700,000
合 計	1,700,000	0	0	1,700,000

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	289,786	289,784	2
合 計	289,786	289,784	2

以上

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産および特定資産については財務諸表に対する注記2. に記載のとおりである。

### 2. 引当金の明細

当期末において引当金を計上していない。

以上

## 監査報告書

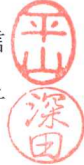
2018年4月10日

公益社団法人 日本地下水学会  
代表理事 会長 谷口 真人 殿

公益社団法人 日本地下水学会

監事 平山 光信

監事 深田 園子



私たち監事は、2017年4月1日から2018年3月31日までの 公益社団法人 日本地下水学会 第8期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の取集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産諸表に対する注記）及び附属明細書等について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、公益社団法人 日本地下水学会の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及び附属明細書は、公益社団法人 日本地下水学会の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上